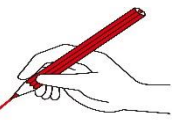


# Move Mountains



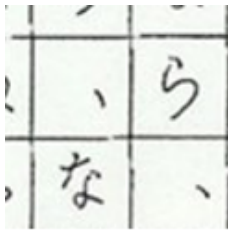
## ○「そっくりそのまま書き写しなさい」

国語の授業、最初に出した課題は「左の文をそっくりそのまま書き写しなさい」。

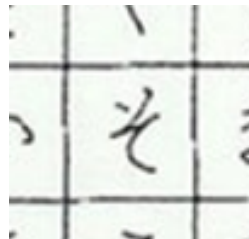
「マルかバツだけつけます」

私は、笑顔でバツをつけていきます。マルをもらった子も「何が良かったのか」という顔をして戻って来ました。

この文章、ポイントは2つ。



「、」の位置と



「そ」の書き方です。

シンプルなようで奥深いこの問題、昭和51年度の慶応義塾中等部の入試問題です。慶応義塾を受けるような受験勉強をしてきた子たちに視写の問題が出されていたわけです。

この問題、視写そのものの力を見たいのではなく

- ・一言一句をよく見ようとする姿勢
- ・「こんなの簡単」と決めつけず丁寧に取り組む姿勢
- ・確認する姿勢

こういったものを確認するものだったのだと思います。国語で最も大切な力は**一言一句をよく見ようとする姿勢**です。

教科書の題名「銀河」を用いた授業をしました。

・音読 ・視写（写す） ・暗唱といった基本的なスキルをまず練習します。

1年生の国語教科書の題名は「かざぐるま」で、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4つを大切に国語を学んでほしいという願いが込められています。



では、5年生「銀河」にはどんな思いが込められていると思いますか。と聞きました。

- ・星の数のように意見を出す
- ・銀河のように意見を交換する
- ・宇宙に行くくらい頑張る

国語は、正解のある問いと、そうでない問いがあります。今回の問いは后者で、自分の意見を持ち、共有し、時には討論をして深めていくプロセスがとても大切です。

と話をして授業を終えました。

## ○感心メモ

感心したことメモをつけています。みんなもお互いの「いいところ」見つけていきましょう。

- ・朝の会が始まる一分前に声をかけてくれた子がいた
- ・頷きながら話を聞いている子がいた
- ・プリントを配った時に「ありがとうございます。」と自然に言った子がいた
- ・廊下の棚に教科書等をしまう時に、工夫して場所を考えている子がいた
- ・トイレのスリッパを自分が使っていない分まで揃えて出てくる子がいた

特に感心したことが

- ・消しカスを手でまとめ、拾って捨てている子がいた
- ことです。

行動としては、本当に何気ないものです。時間にすれば15秒程度。誰に言われたでも、見られているわけでもないけれどした行動に価値があると思うのです。